

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	6	
事業名	行政協力員経費		会計	款	項	目
			一般	2	1	10
施策	6 語らいのあるまち		課名	町民課		
	6-1 町民参画のまちをつくる		係名	町民活動係		
	6-1-1 町民参画のまちをつくる					
主要施策	①協働のまちづくりに向けた町民参画の仕組みづくり					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民と行政の橋渡し役として、地域の代表者、連絡者として、地域住民へ行政情報の伝達と要望等の取りまとめをしてもらう。また、行政からの依頼について協力してもらう。
事業内容	行政協力員…各自治会の代表者(自治会長)を行政協力員として委嘱することにより、自治組織と町との連携を密にし、町行政の効率的な運営を図る。 ※行政協力員の主な処理事項：行政情報の配布、地域住民の要望等の連絡、行政が依頼する催し事、説明会等の調整、地域の環境衛生、防犯・防災等の環境向上を図る。 行政連絡員…行政協力員を補佐し、各自治組織の班長との連絡にあたる。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
	1	地域活動やボランティア活動に参加している人の割合	-	-	-	%	↑	48	
2	自治会加入率	84.3	82.2	80.1	%	↑	89.4		
3									
4									
5									
			平成30年度(決算)		令和元年度(決算)	令和2年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B					15,511	15,331	11,469		
財源内訳	直接事業費 A				12,475	12,295	8,433		
	うち一般財源				12,475	12,295	8,433		
人件費(千円) B					3,036	3,036	3,036		
内訳	一般職員(人・千円)		0.46		3036	0.46	3036	0.46	3036
	臨時職員(人・千円)		0		0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	D大幅に削減すべきである
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	補助金見直しPTの提言による報酬等に見直しについて事務を進めていく。	③取組の課題	自治会加入・未加入で町配布物等、サービスに差異が生じている。行政の一翼を担っていることは、事実だが、行政協力員制度については、PTの提言、時勢等を鑑み、あり方を見直す時期である。
②R1年度に実施した取り組み	行政協力員会議の開催による町との協働、各課から行政協力員への協力依頼、行政協力員・連絡員への報酬の支払い。	④今後の改善計画	報酬については行政協力員の理解を得るべく協議を行い、令和4年度から報酬廃止と制度の廃止について方針を伝えた。今後はその方針のとおり事務を進める。